

令和1年7月2日付・山陰中央新報

## 県立大松江でフォークダンス大会

県立大松江キャンパス（松江市浜乃木7丁目）で7日に初めてフォークダンス大会が開催されることとなり、短期大学部1年生が練習に励んでいる。学生

らは、地域住民とともに踊ることで交流の輪を広げようと意気込み、多くの参加を呼び掛けている。（坂本彩子）

# 住民と学生踊って交流

## 7日の本番へ練習に励む



7日の本番に向けてフォークダンスの練習に励む学生たち

フォークダンス大会は、「県スポーツ・レクリエーション祭」の一環として開催。大会を主管する松江市フォークダンス連盟の谷久与会長（75）が会場を探していたところ、親交があった

県立大の梶谷朱美教授（58）が協力を申し出た。

同大での開催が決定し、学生らは6月に授業の中でフォークダンスの練習を開始。当日はオクラホマミックスなど9曲を踊る予定で、島村友里花さん（18）は「ダンスをきっかけにたくさんの方の人とお話したい。ぜひ踊りに来てほしい」と話している。

大会は午前10時に始まり、当日参加が可能。未就学児や学生は参加無料で、一般は参加費300円。問い合わせは谷会長まで、電話090（8060）5905。



島根県立大短期大学部保育学科2年  
米子市米原7丁目  
日野絢菜さん(19)



### 保育士不足解消して

小学生の頃から保育士を目指している。6月に実習に行き、子どもたちの成長を間近で感じられるところに、改めて魅力を感じた。一方で、人手不足や待遇の悪さを嘆く現場の声を聞いた。資格を持っているのに働いていない人がいて、離職率が目立っている。給与を高くし、人手不足を解消すれば、保育士や幼稚園教諭など保育者が幸せになり、より質の高い保育を提供できるのではないか。

私の  
訴え  
2019参院選